

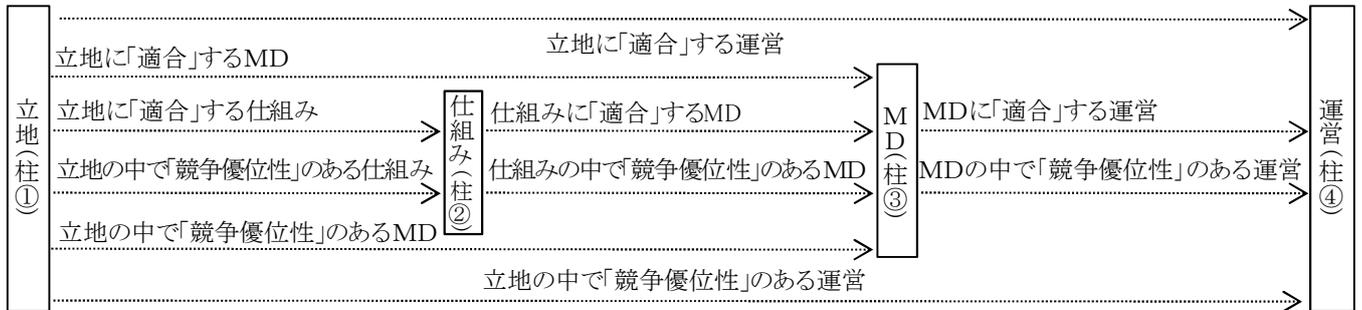
# 流通とSC・私の視点

2009年7月19日

視点(1120)

SCの成果の4つの柱と2つの連結帯とは!!

SCは「立地30%」「仕組み35%」「MDing25%」「運営(狭義)10%」で成果が決まります。SCの成果創出をシステム化すると次の通りです(六車流：流通理論)。



SCの成果創出システムの「立地」「仕組み」「MDing」「運営」を「4つの柱」と呼び、4つの柱を結ぶ「適合性」と「優位性」を「2つの連結帯」と呼びます。

## (1) SCの成果の4つの柱

タイプ	柱の種類	内 容
第1の柱	立 地	立地条件、競争条件、市場条件を客観性と優位性と劣位性と異質性の観点から顕在的かつ潜在的に見抜くこと
第2の柱	仕 組 み	SCの客観数値を勝ちパターンと原理原則の観点から、優位性、劣位性、異質性を見抜くこと
第3の柱	M D i n g	MDingの具体化であるテナントミックス(業態ミックス含む)を勝ちパターンと原理原則の観点から優位性、劣位性、異質性を見抜くこと
第4の柱	運 営	SCをオペレーションのレベルで優位性、劣位性、異質性の観点から見抜くこと

## (2) SCの成果の2つの連結帯

4つの柱である「立地」と「仕組み」と「MDing」と「運営」が互いに相乗効果と波及効果のある状態を創出することがSCの成果を高めます。

この相乗効果と波及効果を創出するものを「連結帯」と呼び、「上位概念に適合すること」と「上位概念の中で競争優位性を持つこと」の2つの連結帯があります。

		内 容
適 合 性	立地に適合する仕組み	立地の優位性・劣位性・異質性に適合し、SCの成果を最大限発揮できる仕組みづくり
	立地に適合するMDing	立地の優位性・劣位性・異質性に適合し、SCの成果を最大限発揮できるMDingづくり
	立地に適合する運営	立地の優位性・劣位性・異質性に適合し、SCの成果を最大限発揮できる運営・監理体制づくり
	仕組みに適合するMDing	仕組みの優位性・劣位性・異質性に適合し、SCの成果を最大限発揮できるMDingづくり
	MDingに適合する運営	MDingの優位性・劣位性・異質性に適合しSCの成果を最大限発揮できる運営・監理体制づくり
優 位 性	立地の中で競争優位性のある仕組み	立地の中で、競争優位性のある戦略を導入し、SCの成果を最大限発揮できる仕組みづくり
	立地の中で競争優位性のあるMDing	立地の中で、競争優位性のある戦略を導入し、SCの成果を最大限発揮できるMDingづくり
	立地の中で競争優位性のある運営	立地の中で、競争優位性のある戦略を導入し、SCの成果を最大限発揮できる運営・体制づくり
	仕組みの中で競争優位性のあるMDing	仕組みの中で、競争優位性のある戦略を導入し、SCの成果を最大限発揮できるMDingづくり
	MDingの中で競争優位性のある運営	MDingの中で、競争優位性のある戦略を導入し、SCの成果を最大限発揮できる運営・監理体制づくり

上記の内容のシステム化は、SCが持つパワーを数値化することができ、SCの格付けに役立ちます。

(株)ダイナミックマーケティング社<sup>+</sup>  
代 表 六 車 秀 之